

丸木舟のスピードについて

丸木舟ミンナの座席は8名分ある。しかし、

7名以上で漕ぐ場合には、小型船舶検査を受けなければならない。ところがこの検査の中に丸木舟の項目がなく、櫓櫂船の検査規定で舟の乗船人数が算出される。それによると、おそらく3名しかし乗れないらしい。その要因に、舟の横幅が少ないことが関係しているようだ。7名以上が乗れる丸木舟をつくるには、目回りの直径が3メートル以上ある杉の木でなければ作れない。現実にそのような木はほぼ存在しません。なので検査なしで乗れる範囲(6名以内)で航行しなければならない。

佐合島での航海練習で、丸木舟ミンナの手漕ぎでのスピードが、どのような状況でどう変化するか試しました。

まず、クルーが増えれば速度が上がる。しかし、個人的能力の差があるため、一概に言えない面もある。

追い風、向かい風で変化する。

波と潮流に影響される。

パドルの形状によって変化する。

気温の高い時は、体力が奪われてスピードが落ちる。

以上のように、複雑に状況が変化するため、丸木舟のスピードを予測することが難しい。

安全に航海するためのスピード確保は、たくさんの航海経験から導き出せるものである。なので一概に、速度を算出出来ません。しかし、佐合島での航海練習で得た体感から、3人で漕いだ条件の良い平均値の速度は、2ノットだと感じます。1時間で、約3.6キロほど進むことが出来る速度です。

最後に思うことは、速度が遅いほど、事故の程度は、軽くなることです。ただし、船舶航路の横断や瀬を通過する時はスピードが必要だと思っています。